

竹原市収受
竹第号
30.4.16
延保期表
月 日
分納回数
保存年数

資料様式第3号

議長	副議長	局長	局長補佐	係長	局
		印			印

平成30年4月16日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名

今田佳男 印

視察・調査場	全国市町村国際文化研修所
期 日	平成30年4月12日 ~ 平成30年4月13日
経 費	29210円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査目的	平成30年度 第1回市町村議会議員特別セミナー
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡市の観光戦略 ~Local&Global~ ・観光立国と地方創生 ~インバウンドが切り拓く地域の未来 ・観光・地域振興のあり方を考える ~観光は地域を元気にできるか~ ・京菓子老舗女将のとおきのお話
効果・成果等	<p>竹原市が推進しようとしているシティプロモーションの参考となる事例等が多数紹介された有意義な研修であった。特に豊岡市長の講演は具体的であり、「もうひとつの卒業式=豊岡卒業証書」は高校卒業時に市外へ転出する若者が多い当市でも検討できるのではないかと思う。視察を含め今後も研究していきたい。</p> <p>(研修内容等は別紙添付)</p>

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

平成30年度 第1回市町村議会議員特別セミナー

月日	曜日	1時限 (9:00~10:30)	2時限 (10:50~12:20)	3時限 (13:00~14:30)	4時限 (14:50~16:20)	課外 ?
4/12	木		11:00-12:00 受付 11:00- 昼食 12:45- 開講・日程説明	【講義1】 (13:00~14:30) 豊岡市の観光戦略 兵庫県豊岡市長 中貝 宗治	【講義2】 (14:50~16:20) 観光立国と地方創生～インバウンドが切り拓く地域の未来 一般社団法人 日本インバウンド連合会理事長 中村 好明	16:40～ 入寮オリエンテーション 【講義 (2階)】 17:15～交流会 【大食堂 (1階)】
4/13	金	【講義3】 (9:00~10:30) 観光・地域振興のあり方を考える～観光は地域を元気にできるか～ 立教大学観光学部教授 観光研究所長 東 徹	【講義4】 (10:50~12:20) 京菓子老舗女将のお話 とっておきのお話 笹屋伊織 女将 京都観光おもてなし大使 田丸 みゆき	12:20~12:30 閉講・事務連絡		

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

(平成30年4月12日現在)

名札の色：白色、研修担当：今西、中村

平成 30 年度第 1 回市町村議会議員特別セミナー

(1)豊岡市の観光戦略 ～Local&Global～

地方創生＝人口減少対策（目標値を定める）

社会的、経済的、文化的に「貧しい地方」と「豊かな都市」という強烈なイメージ

「地方は貧しくつまらない」

「地方は閉鎖的でチャンスも出番もない」

若い人たちに認められる「地方で暮らす価値」の創造

・観光に関する市の基本的な考え方

観光＝総合コミュニケーション 町全体のコミュニケーション力のアップ

①Local&Global

小さな世界都市 人口規模は小さくても世界の人々から尊敬されるまち

世界に通用する「ローカル」を磨く

受け継いできた大切なものを守り育てる

②情報発信

秘書広報課情報戦略係

③データの収集と分析

④Local&Globalコミュニケーション

・ふるさと教育

豊岡卒業証書（高校卒業時に市外に出て行く生徒に対して親から渡す）

あなたが帰ってきたくなる町をめざして私たちも頑張ります

・英語習得 幼・保～中・高

・コミュニケーション能力の向上

(2)観光立国と地方創生 ～インバウンドが切り拓く地域の未来

観光で何を売るか？ 暮らし(ライフスタイル) 私たちの日々の暮らしのクオリティをあげる

戦略とは、すでに起こっている未来を体系的に探ること ⇔ おもいつき

インバウンドは自分のまちだけでは成功しない

・社会を変革し未来を創る5つの「き」

①意識

22世紀未来意識

②知識

③勇気

実行→自信

④元気

協働

⑤景色

未来の現実

・観光立国の5者

①若者

②ばか者

③よそ者

④切れ者（専門家）

⑤本者（その町の固有性を担っている人たち）

- ・国際関係人口を増やす
 - ①定住人口 減少
 - ②国内交流人口 減少or横ばい
 - ③国際交流人口 増加
 - ④国際関係人口 さらに増加させる リピーター

・地域のファンを国内外に創る ひとりひとりがファンづくり

都市の人口も減少して、Iターン、Jターンも減少する

・インバウンドの定義 (観光事業だけではない)

日本に集まってくる人、物、カネ、情報のベクトルのすべて

・狭義の観光から広義の観光へ

レジャー + ビジネス + MICE + VFR

(Visit Friend and Relatives)

・観光立国=旅立国 たび=家を離れて何かをする機会、可能性

わが町を知る

自分のまちを持続可能にする

地域みずからの固有のライフスタイルを再確認し、みがき、高め、広め、稼ぐ

(3)観光・地域振興のあり方を考える ~観光は地域を元気にできるか~

・住んでよし、訪れてよしの地域づくり

住む人々が地域の「光」をよりよく自覚する 誇り、愛着

訪れる人々にとっても地域の「光」をよりよく感じさせる 経験価値

観光=経験の価値

・観光資源というものはいたるところに眠っている。それを観光対象にする仕方に問題がある。

観光=旅行をとまなう地産地消

・来る時は「ゲスト」、帰る時は「ファン」に

質(経験価値)の高い観光が地域と顧客との関係性を深化させる

「交流人口」から「縁人口」へ

ゲスト→ファン→さらに地域のサポーターに

(4)京菓子老舗女将のとおきのお話

・いつまでたっても一見さんの東京 2回目からはお得意さんの京都

・おもてなしとは

お役立ち 京都に来られたお客様は、京都のお客様

ケチにならない

情報のケチ

能力のケチ

ご縁のケチ 紹介しない

自分が他の人同士を紹介しない人は、人に紹介してもらえない



平成30年度

第1回市町村議会議員特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、地方議会の議員には、様々な行政課題について学び、施策を提案していくことが求められています。

本セミナーでは、観光をテーマに各分野でご活躍の先生方にご講演いただきます。

経済波及効果の大きい観光は、地域活性化、雇用機会の増大などの効果が期待できます。本格的な人口減少時代において、これからの地域の活力の維持向上のために、地域全体の価値を向上させ、観光による地域づくり、まちづくりを進める方策について考えます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

4月12日(木)

豊岡の観光戦略 ～ Local & Global ～

兵庫県豊岡市長 中貝 宗治 氏

観光立国と地方創生 ～インバウンドが切り拓く地域の未来

一般社団法人日本インバウンド連合会 理事長 中村 好明 氏

4月13日(金)

観光・地域振興のあり方を考える ～観光は地域を元気にできるか～

立教大学観光学部教授・観光研究所所長 東 徹 氏

京菓子老舗女将のとおきのお話

笹屋伊織 女将・京都観光おもてなし大使 田丸 みゆき 氏

開催要領

日程

平成30年4月12日(木)～4月13日(金) (2日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

市区町村議会議員の皆さま

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

200人 募集人数を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページでお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

6,650円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

平成30年3月9日(金)まで

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申込ください。

※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<http://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約20日前までに通知をお送りします。

経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

● 問い合わせ先 ●




公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <http://www.jiam.jp>

竹原市収受
竹第号
30.4.27
発行年月日
分類記号


資料様式第3号

議長	副議長	局長	局長補佐	係長	局員
					

平成30年4月27日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名

今田佳男 

視察・調査場	NHK名古屋放送センタービル内教室
期日	平成30年4月26日 ~ 平成30年4月26日
経費	48840円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査目的	<名古屋地区>NOMA行政管理講座
内容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	<p>地方議員のための議会運営の基本と戦略 ~審議の基本から予算修正、議案修正、政策立案のポイントまで</p> <p>1)議会運営の基本 2)戦略的な議会運営 3)政策立案ができるために</p>
効果・成果等	<p>戦略性を持って議会運営をすべきとして、テキストを使って議会運営の基本である二代表制から、政策立案までの解説があった。</p> <p>個々の議員の力ではなく「議会力」を高めて、これまでの「監視型」議会から「政策提言型」議会に変わるべきであり、「地方創生」時代における議会の役割は極めて重要で、「地方創生は地方議員の力量にかかっている」という指摘は重く受け止めなければならない。</p> <p>(研修内容等は別紙添付)</p>

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

地方議員のための議会運営の基本と戦略

1) 議会運営の基本

地方議会は国会の議員内閣制とはまったく違う

議会は議事機関であり、しっかり議論がなされているか？

一人の議員ではなく、議会全体として頑張っているか？

中高生に対する主権者教育が必要（議会の必要性を伝える）

議会基本条例は議会として必要であり、制定して、改選ごとにレベルを上げていくことが必要

「地方創生」は地方議員の力量にかかっている

政策の良し悪しを競うのが二元代表制

政策の質を上げるのが議会の役割

・自治体議会は、首長優位のシステムに、二元代表制の立場から戦略を持って対抗しているか？

議会改革とは、「二元代表制」を追求していくことではないか？（二元代表制の実質化）

これからまでの「監視型」議会から「政策提言型」議会へ

・政策方向の表明

執行機関の政策立案がなされる前に、議会が「政策方向の表明」によって意思表示をする

具体的な方法 議員提出条例の提案、意見書、議決、提言

・議案審査に当たっては、原案可決を前提にせず、修正すべき個所がないかを模索する。

事前学習が不可欠。

修正にいかなくても、議会としての意見を附帯決議によって表明する。

・参考人制度の活用、公聴会の開催をしていない

2) 戦略的な議会運営

予算修正は当たり前

議員提案条例 任期中にひとつは提案すべき

議員力を議会力に高める

・まずは、議会基本条例制定を目指すこと

3) 政策立案ができるために

・議会事務局職員の活用

予算書の勉強会の開催

新規事業の実施状況を確認するために議決後でも勉強を続ける

新規事業の考え方だけでも早めに説明を受けるようにする

議会と議会事務局が車の両輪

・政務活動費の活用

領収証の日付なども重要であり、公開すべき

なぜ今その調査をするか？ 合理的な理由があるか？

政務活動費を使って成果を出しているか？

収支報告書だけでなく、成果報告書を提出すべき（例：京丹後市）

政策の質を上げるため、調査研究活動に使うべき

・専門的知見の活用

大学との連携

学識経験者の活用

都道府県議会議長
都道府県議会議員
市町村議会議長
市町村議会議員
各会派代表者
議会事務局 長 殿

一般社団法人 日本経営協会
常務理事・中部本部長 大久保 若穂

<名古屋地区>NOMA 行政管理講座のご案内

[平成30年4月26日(木)開催]

地方議員のための議会運営の基本と戦略

～審議の基本から予算修正、議案修正、政策立案のポイントまで～

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。本会事業活動には、平素より格別なご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の地方行政では地方創生、医療福祉政策、防災減災対策など重要課題がめじろ押しとなっております。そのため、議会においてはスムーズな議事進行が必要なのはもちろんのこと、地域の実情や住民の声をふまえて審議を充実させることが重要となります。

本講座では、円滑かつ活発な審議とするための「基本」を理解し、さらに、議員として政策形成力を発揮するための「戦略」を学んでいただきます。講義では、予算修正・議案修正・議員提案条例など具体的な項目を取りあげながらポイントを解説しますので、議会運営にご活用いただければと存じます。

時節がらご多忙の折とは存じますが、この機会に関係者の方々のご参加をおすすめ申し上げます。

敬具

記

日時：平成30年 4月 26日(木) 10:00～16:00

会場：NHK 名古屋放送センタービル内教室 (名古屋市東区東桜 1-13-3)

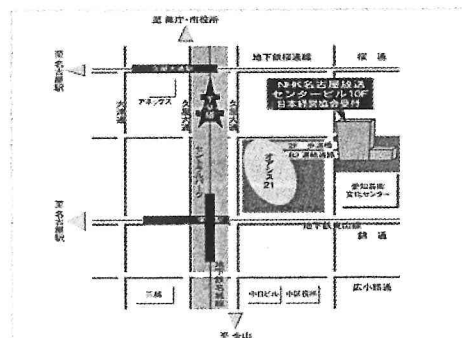
講師：議会事務局研究会 共同代表

三重県地方自治研究センター 上席研究員

(元)三重県議会事務局 次長 高沖 秀宣氏

参加料(負担金 1名につき)

	負担金	消費税等	合計
NOMA会員	18,000 円	1,440 円	19,440 円
一般	20,000 円	1,600 円	21,600 円



【JR・名鉄・近鉄の名古屋駅より】
 地下鉄東山線(4分)栄駅より徒歩5分
 地下鉄桜通線(5分)久屋大通駅より徒歩6分
 【中部国際空港より】
 名鉄(25分)金山駅(乗換)地下鉄名城線(7分)栄駅より徒歩5分
 ※地下鉄駅からは、地下街、オアシス21経由でNHKビルに直通

申込方法：裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAX等で下記へお申し込みください。
折り返し、「参加券」と「振込口座名を記載した請求書」を、ご派遣責任者宛にお送りします。

- ・電話予約も受け付けております。その他ご不明な点は下記までお問い合わせください。
- ・負担金は原則開催日の3営業日前までにお納めください。経理処理等の都合で遅れる場合は事前にご連絡ください。
- ・ご参加申込のお取消は、開催日の3営業日前までにご連絡ください。
- ・負担金は返却いたしかねますので、ご参加申込の方のご都合が悪くなられた場合は、代理の方にご出席いただきますようお願いいたします。
- ・領収書が必要な場合は裏面をご参考のうえご連絡ください。

キャンセル：お申し込み後、キャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
開催日の3営業日前～前日までのキャンセルは参加料の30%、開催日当日は100%をキャンセル料として申し受けます。
なお、当日までに連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますのであらかじめご了承ください。

ご宿泊：本会では宿泊手配(予約)はいたしませんので、直接ホテルへお申込みくださいますようお願いいたします。
ご参考までに会場周辺のホテルを、下記の通りご案内申し上げます。

- ※ご予約の際に、日本経営協会からの紹介であることをお申し出いただけますと、宿泊料金の割引がございます
- ※ホテルの宿泊料・割引等は事前フロントにお確かめください(時期によって変動がございます)

ホテル名	シングル客室料金(ご参考)	交通	ホテル電話
東京第一ホテル錦	11,000 円～13,000 円(15～20%割引有)	地下鉄栄駅より徒歩3分	052-955-1001
ベストウェスタンホテル名古屋	7,000 円～	地下鉄栄駅より徒歩4分	052-263-3411

お問合せ：一般社団法人日本経営協会 中部本部 企画研修グループ(担当:山田・里見)

お申込先 〒461-0005 名古屋市東区東桜 1-13-3 NHK 名古屋放送センタービル 10F

TEL (052)957-4172 FAX (052)952-7418

※お問合せは、平日の9:15～17:15 にお願ひいたします

竹原市収受
竹原市第 号
30.5.21
平成 年 月 日
分類記号
収受印

資料様式第3号

議長	副議長	局長	局長補佐	係長	局員
道法		佳男			印

平成30年5月21日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名

今田佳男 印

視察・調査場 所	5月17日 NHK名古屋放送センタービル内教室 5月18日 一般社団法人ペアレンツキャンプ
期 日	平成30年5月17日 ~ 平成30年5月18日
経 費	53740円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査目 的	①「地方交付税」から学ぶ地方財政講座 ②ペアレンツキャンプ代表水野達朗氏より情報収集
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	「地方交付税」から学ぶ地方財政講座 ・国と地方の事務、財政調整制度の必要性 ・地方交付税制度の概要 ・地方債制度 ・その他の自治体財源の理解 ・歳出予算審議のポイント
効果・成果等	①研修では、地方交付税等の詳しい説明があったが、議員としては歳出予算審議のポイントが参考になると思う。 (研修内容等は別紙添付) ②水野達朗氏は以前講座を受講したときからメール連絡、事務所訪問をして、情報交換をさせていただいている。今回事務所を移転されたので、教育関係の情報収集を目的として訪問した。文部科学省の検討委員会に所属するなど、家庭教育支援に詳しい方であり、今後竹原でセミナーの開催を検討したい。

「地方交付税」から学ぶ地方財政講座

地方交付税の性格

本来地方の税収入とすべきであるが、団体間の財源の不均衡を調整し、すべての地方団体が一定の水準を維持しうるよう財源を保障する見地から、国税として国が代わって徴収し、一定の合理的な基準によって再配分する、いわば「国が地方に代わって徴収する地方税である。」(固有財源)

地方自治体の歳出の特徴

- ・市町村では、民生費が多い(生活保護を中心とした社会福祉行政のため)
- ・市町村では、土木費が年度別に上下するものの、多くなる傾向
- ・都道府県、市町村共通で多いのが、公債費

建設公債主義

- ・地方財政法第5条による借入制限
- ・地方債の償還年限<当該地方債を財源として建設した公共施設等の耐用年数
⇒投資的経費>借入
⇒収益(税収等)によって、経常的経費の全部と投資的経費の一部を賄う
- ・借入れを抑制することで「資産超過」(債務超過とならない)条件設定をして、財務状況については「資金繰り」の問題に絞ること
⇒資金繰りの問題に絞るからこそ、歳出増、歳入減の額が小規模でも、資金不足が発生しやすい現状にある。

歳出予算審議のポイント

- ・歳出予算を事業別に見てみる。特に、人件費の計上は、各事業の予算案には計上されていないため、どの程度の「人手」が必要な事業なのか確認する。
- ・事業別予算になっていない自治体では、重要な事業だけでも、各部、各課に分散計上されているようであれば、それを集計した資料を要求して全体像を把握する。
- ・大規模予算ほど、審議が簡単になっていないか。特に、「長期計画の則って実行している」ような整備事業は、金額が大きい割には、時間が掛けられていない傾向にある。
- ・「調査」「基本構想」などの名称は、施策の実行段階で将来の負担が大きくなる可能性があるにもかかわらず、当該名称での予算額は小さいので、よく注意して、将来負担についても審議する。
- ・委託料、補助金、負担金については、積算についても確認する。



代表理事

水野 達朗

Tatsuro Mizuno

〒530-0041
大阪府大阪市北区天神橋 2-2-10 ワイズビル 8F

☎ 06-6766-4470

✉ mizuno@parents-camp.jp

🌐 www.parents-camp.jp

📱 ペアレンツキャンプ 検索 🔍

facebook. twitter 🐦



水野達朗

教 | 育 | 支 | 援 | 活 | 動

- 大東市 教育委員会 教育委員 (2015年~)
- 文部科学省
家庭教育支援の推進方策に関する検討委員会 (2016年)
家庭教育支援手法等に関する検討委員会 (2015年)
等、文部科学省委員を歴任
- 大阪府教育委員会 こころの再生百人衆
- 日本家族研究・家族療法学会 会員

執筆書籍多数!



講演会やセミナーの講師としても
精力的に活動中です!

家庭教育・子育て
対象:保護者・教職員

不登校支援
対象:保護者・教職員

キャリア教育
対象:学生

教育行政改革
対象:職員・行政

都道府県議会議員
市町村議会議員
各会派代表者
議会事務局庶務課長
財政課長
監査委員事務局長 殿

一般社団法人 日本経営協会
常務理事・中部本部長 大久保 若穂

<名古屋地区>NOMA 行政管理講座のご案内

[平成30年 5月17日(木) 開催]

「地方交付税」から学ぶ 地方財政 講座

～予算審議に向けて地方財政制度を徹底理解する～

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。本会事業活動には、平素より格別なご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

地方交付税は、自治体の政策の多くに関係し、自治体が提供するサービスを支えています。本講座では、地方財政制度の理解の中でも最大の難所である、地方交付税についてわかりやすく解説することで、地方税、国庫支出金、地方債の各制度についても有機的な理解につなげていただきます。また、それを通じて、予算審議における歳入予算審議のポイントや、歳出・予算審議についても財源の観点から理解を深めていただけます。

時節柄ご多忙の折とは存じますが、この機会に関係者の方々のご参加をおすすめ申し上げます。

敬具

記

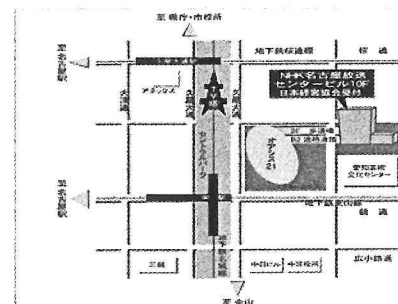
日 時:平成30年 5月 17日(木) 10:00～16:00

会 場:NHK 名古屋放送センタービル内教室 (名古屋市東区東桜 1-13-3)

講 師:関西学院大学専門職大学院 経営戦略研究科 教授
博士(経済学) 稲沢 克祐 氏

参加料(負担金 1名につき)

	負担金	消費税等	合計
NOMA会員	18,000 円	1,440 円	19,440 円
一 般	20,000 円	1,600 円	21,600 円



【JR・名鉄・近鉄の名古屋駅より】
地下鉄東山線(4分)栄駅より徒歩5分
地下鉄桜通線(5分)久屋大通駅より徒歩8分
【中部国際空港より】
名鉄(25分)金山駅(乗換)地下鉄名城線(7分)栄駅より徒歩5分
※地下鉄駅からは、地下街、オアシス21経由でNHKビルに直通

申込方法:裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAX等で下記へお申し込みください。
折り返し、「参加券」と「振込口座名を記載した請求書」をご派遣責任者宛にお送りします。

- ・電話予約も受け付けております。その他ご不明な点は下記までお問い合わせください。
- ・負担金は原則開催日の3営業日前までにお納めください。経理処理等の都合で遅れる場合は事前にご連絡ください。
- ・ご参加申込のお取消は、開催日の3営業日前までご連絡ください。
- ・負担金は返却いたしかねますので、ご参加申込の方のご都合が悪くなられた場合は、代理の方にご出席いただけますようお願いいたします。
- ・領収書が必要な場合は裏面をご参考のうえご連絡ください。

キャンセル:お申し込み後、キャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
開催日の3営業日前～前日までのキャンセルは参加料の30%、開催日当日は100%をキャンセル料として申し受けます。
なお、当日までに連絡なくご欠席の場合も、100%のキャンセル料となりますのであらかじめご了承ください。




ご宿泊:本会では宿泊手配(予約)はいたしませんので、直接ホテルへお申し込みくださいますようお願いいたします。
ご参考までに会場周辺のホテルを、下記の通りご案内申し上げます。
※ご予約の際に、日本経営協会からの紹介であることをお申し出いただけますと、宿泊料金の割引がございます
※ホテルの宿泊料・割引等は事前にフロントにお確かめください(時期によって変動がございます)

ホテル名	シングル客室料金(ご参考)	交通	ホテル電話
東京第一ホテル錦	11,000 円～13,000 円(15～20%割引)	地下鉄栄駅より徒歩 3 分	052-955-1001
ベストウェスタンホテル名古屋	7,000 円～	地下鉄栄駅より徒歩 4 分	052-263-3411

お問合せ: 一般社団法人日本経営協会 中部本部 企画研修グループ(担当:宮津・里見)
お申込先 〒461-0005 名古屋市東区東桜 1-13-3 NHK 名古屋放送センタービル 10F
TEL (052)957-4172 FAX (052)952-7418 ※お問合せは、平日の9:15～17:15にお願いいたします

竹原市収受
竹原市第 号
30.5.24
収受年度
収受月
収受日


資料様式第3号

議長	副議長	局長	局長補佐	係長	局員
					

平成30年5月24日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名

今田佳男 

視察・調査場 所	衆議院議員会館 宣伝会議セミナールーム
期 日	平成30年5月22日 ~ 平成30年5月23日
経 費	52400円
参加者氏名	今田佳男
視察・調査目 的	寺田稔衆議院議員会館 挨拶 自治体マーケティング広報フォーラム2018
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	自治体マーケティング広報フォーラム2018(22日) ・稼げる地域を目指す インバウンド事業における海外へのPR ・メディアに取り上げられるための情報発信戦略 ・地方自治体におけるナイトタイムエコノミーの可能性 ・民間と連携、マーケティングの視点を取り入れた豊岡の事例 ・地方に眠る宝を活かす。写真とSNS活用法 ・情報交換会 当初23日のフォーラムにも参加する予定であったが、所属する議会だより編集委員会が23日午後開催されたため不参加となった。
効果・成果等	予算特別委員会でシティプロモーションについての質疑をした。「シティプロモーションの「知」の集約の場」という内容であり参加した。特に以前の研修で豊岡市長の講演を聞いて感銘を受けたことがあり、今回の大交流課課長の講演に期待していた。民間と人事交流をすることで連携し、データを重視、詳しく分析してマーケティングを行い施策を検討されていることがわかった。(講義内容は別紙添付) 交流会で、今回の主催者宣伝会議、事業構想大学院大学の関係者と名刺交換をし、広島市内にも事業所を開設される予定とのことであり、今後の情報交換をお願いした。

自治体マーケティング広報フォーラム2018

①稼げる地域を目指す インバウンド事業における海外へのPR

(一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社)

- ・規約を設けない「秩父インバウンド政策コア会議」で事業のプレゼンをしてもらう
コンサル的な提案は不可
- ・インバウンドのターゲットを絞った 台湾、アメリカ、フランス、タイ
地域でターゲット圏に関する勉強会を実施
- ・稼げるインバウンドの推進に向け、事業継続につなげていく
- ・ホテルコンシェルジェがパンフレットを作成
行政に求められる公平性を考慮する必要がない
- ・インバウンドチームのある埼玉県、西武鉄道と連携して相互の相乗効果をねらう
西武鉄道は秩父市の約10倍近い予算で事業を運営している
情報交換会を繰り返す
- ・観光分野に限定せず、地域内外のさまざまなみなさんと連携しながら、稼げる地域を目指す

②メディアに取り上げられるための情報発信戦略

- ・高校生以下はテレビを見ない
- ・デジタル施策における注意点
施策ありきになっていないか？
地域住民の理解、関心を得られているか？
- ・ストーリーコンテンツの作り方
トレンド、新たな価値観、社会情勢
- ・メディアリレーションは単発でなく、継続していくことが重要
担当者の経験値をいかに引き継ぐか
- ・茨城県はメディアへの対応がうまい
同じようなことをするなら茨城県を選択するというような雰囲気がある

③地方自治体におけるナイトタイムエコノミーの可能性

- ・夜の町を活性化することのメリットを町内会等地元住民に伝える
昼間の商店街と夜の飲食街との連携
- ・地元の夜が活性化すれば、若者の地方離れを防げるのではないか

④民間と連携、マーケティングの視点を取り入れた豊岡の事例

- ・市の産業連関表のデータより、観光産業を地方創生の基盤と位置付け
- ・小さな町の小さな取組

マーケティング的視点の導入

データを活用して試行錯誤を繰り返す

民間とのパートナーシップ

当初は楽天トラベルより人材の派遣を受け、現在は市の職員を派遣している

- ・城崎温泉は温泉街が一つの旅館 共存共栄が町是
ターゲットは城崎温泉の価値に共感できる人

④地方に眠る宝を活かす。写真とSNS活用法

- ・地方PRの課題

何をするのかの住民合意

核の保護と育成

地域経済への落とし込み

住民と来訪者の融和

- ・SNSの重要性

消費者はPCからスマホへシフト スマホユーザー＝アプリユーザー

- ・写真と地域活性化の相性の良さ 人を動かす力がある

- ・地方のPRはSNSと写真

スマホ上で映えて、壁を越えて人を連れてくる力があるのは写真

- ・美瑛町の景観条例 写真家の意見を取り入れている

20-355384

受 付 票 (控)		
平成 30 年 5 月 22 日	午 前 11 時 28 分 後	
議員名	寺田 稔 殿 12 階 1213 号室	
来 館 者	ふりがな	いまだ
	氏 名	寺田 稔 外 名
	住 所	竹原市快楽館 11-7-4
	勤務先 団体名	竹原市議会
	用 件	陳 挨 連 公 社 私 用 職 業 情 接 絡 用 用 用 市議会議員
注 意	(1) 用件欄の該当箇所を○でかこんで下さい。 (2) 申請外の議員事務室及び会議室には通行できません。 (3) 本票は、退館時にカード回収箱に返却して下さい。	

衆議院議員会館

衆議院議員 寺田 稔
秘書 弘 中 礼二郎

＜自治体マーケティング広報フォーラム 2018 講演プログラム一覧＞

22日(火)

宣伝会議

学校法人 社会情報大学院大学
事業精進大学院大学

社会情報大学院大学
SOCIETY INFORMATION UNIVERSITY OF JAPAN

時間	カンファレンス A	カンファレンス B
13:00 ～ 14:00	<p>自治体3.0のまちづくり —魅力創造の担い手をつくる—</p> <p>生駒市 市長 小紫 雅史 氏</p> <p>[A1] 生駒市は、急速に進む少子高齢化に「自治体2.0から3.0への進化」で立ち向かおうとしています。このため、プロモーションも行政サービスの拡充による他都市との差別化ではなく、人と人のつながりを大切に「価値の創造」を重要視しています。対話を重視したワークショップや交流促進事業により、夢や意志をつなぎながら、地域に魅力をつくり出す担い手を育て、まちの価値を向上させる生駒流のまちづくりについて話します。</p>	<p>稼げる地域を目指す インバウンド事業における海外へのPR</p> <p>一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社事務局長 井上 正幸 氏</p> <p>[B1] 秩父地域おもてなし観光公社の設立経緯、組織体制と稼げる地域を目指し実施している事業、その中で、インバウンド政策に対して推進するための会社体と西武鉄道様を始めとする民間業者との協力体制及び地域住民のかかわり方についてお話しします。</p>
14:15 ～ 15:00	<p>メディアに取り上げられるための 情報発信戦略</p> <p>～今改めて考える テレビPRの効果と成功事例を中心に～</p> <p>株式会社フロンティアインターナショナル PRプロデューサー 千葉 充 氏</p> <p>[A2] 広報・PR施策において、PR動画、インフルエンサー活用、SNSキャンペーン等、デジタルコミュニケーションへの注力が拡大している状況の中で、今一度マスメディア報道を獲得していくことの価値について考えたい。企業・団体のPRエージェントとして、全国20地域にのぼる自治体の広報・PR事業に携わってきた実績から、実務・現場レベルでの手法や成功事例をご紹介します。</p>	<p>もっと遠くに、もっと近くに。</p> <p>株式会社Geolocation Technology 代表取締役社長 山本 敬介 氏</p> <p>株式会社CIセンター 代表取締役プロデューサー 甲賀 雅章 氏</p> <p>[B2] 「プロモーション」や「ブランディング」とは何か？それは、目指すべき成果を設定した上で、差異性を明確にすることから始まります。伝える「差異性」を明確にした上で自治体のプロモーションにおいて欠かせない「エリアターゲティング」を、国内唯一のIP Geolocation技術を使った活用方法を大阪府立江之子島文化芸術創造センターにて行なったイベント集客の実証実験の結果を交えながらご紹介いたします。</p>
15:15 ～ 16:00	<p>地方自治体における ナイトタイムエコノミーの可能性</p> <p>～渋谷区観光協会とナイトアンバサダーの実績～</p> <p>渋谷区観光大使ナイトアンバサダー Zeebra 氏 一般財団法人渋谷区観光協会 企画広報部 部長 堀 恭子 氏</p> <p>[A3] 渋谷区観光協会がこれまで取り組んで来たナイトタイムエコノミーの事例と、ナイトアンバサダーの活動内容や役割を紹介。ナイトアンバサダー Zeebraによる改正風俗法の説明や世界のナイトメイヤー事情を紹介し、これからの渋谷区のナイトタイムエコノミーの動きや日本初のナイトメイヤー設立の可能性をお話しさせていただきます。</p>	<p>AI技術の活用事例と発展の可能性</p> <p>株式会社NTTドコモ インベーション統括部 クラウドソリューション担当 小林 拓也 氏</p> <p>[B3] 自動的に会話するプログラム「チャットボット」が徐々に自治体においても活用が進み始めている。利用用途などは自治体ごとに異なるため、具体的なチャットボットの活用事例を巡って、チャットボットの現状をご紹介します。また、他の技術と組み合わせることによるチャットボットの今後の発展の可能性についてもご紹介する。</p>
16:15 ～ 18:00	<p>住宅都市の魅力の見つけ方とプロモーション</p> <p>流山市役所 総合政策部マーケティング課 メディアプロモーション広報官 河尻 和佳子 氏</p> <p>「うちの街の魅力って何だろう？シティプロモーションをせよと言われるが、どうしたらいいの。」という声をたくさん聞きます。他にはない自分の街の魅力の見つけ方やPRするコツ、難しいといわれている住民との共創の方法などをお話しします。</p> <p>[A4] シビックプライドランキング2018、発表!</p> <p>株式会社読売広告社 執行役員 ひとまちみらい 研究センタープロデューサー 榎本 元 氏 株式会社読売広告社 R&D局局長代理 ひとまちみらい 研究センタープロデューサー 上野 昭彦 氏</p> <p>読売広告社ひとまちみらい研究センターではこの3月、関東圏・関西圏の人口10万人以上の151自治体についてのシビックプライド度を測定する大規模な調査を実施。それをもとに「自治体シビックプライドランキング」を作成。その調査結果・ランキングを、本フォーラムではじめて発表します。自治体や地域振興に関わる方々にとって、きわめて重要な情報になるでしょう。</p>	<p>民間と連携、マーケティングの視点を 取り入れた豊岡の事例</p> <p>豊岡市 豊岡市環境経済部 大交流課 課長 谷口 雄彦 氏</p> <p>兵庫県北部にある豊岡市・城崎温泉は、外国人宿泊者数が5年で40倍に増加しており、浴衣の似合う町として外国人に人気の温泉となりつつある。豊岡市は、外国人観光客を呼び込むため、民間と連携しこれまでの「勘」、「経験」に加えてデータを活用した取り組みを進めている。今回は、市のインバウンド戦略・データ収集と分析、海外向け動画広告、外国人観光客の受入れ体制の整備等の現状と課題を紹介する。</p> <p>[B4] 地方に眠る宝を活かす。写真とSNS活用法</p> <p>東京カメラ部株式会社 代表取締役社長 塚崎 秀雄 氏</p> <p>1枚の写真がSNSで注目を集めて世界中から人が集まる大観光地が生まれる。そんな奇跡はまず起きません。しかし、その成功の種は各地に眠っています。370万超のファンがいる日本最大級の審査制写真投稿サイト・東京カメラ部は、写真家の「被写体を見つけ出す力」と、年間延べ8億人を超える写真評価データを活かして、地元の宝を掘り起こし、拡散する取り組みを行っています。本講演ではそうした取組の一例をご紹介します。</p>

18:20～20:00

情報交換会

来場される皆さまにて情報交換や意見交換を実施いたします。
※ 簡単な軽食とドリンクを用意しています